

## 中医協概要報告（2021年7月14日開催）

### （第63回診療報酬改定結果検証部会、第483回総会）

厚労省は7月14日、中医協の診療報酬改定結果検証部会と総会を開催した。

検証部会では、「令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和3年度調査）の調査票案」が示され、了承された。第2弾では、かかりつけ医（外来、歯科、薬局）、精神医療、働き方改革関連、後発医薬品使用促進など6項目に渡る。

総会では、その前の検証部会で了承された調査票案の了承、金パラ告示価格引き上げ、次回改定に向けた議論「調剤（その1）」などをテーマに議論した。調剤をめぐっては、次回改定に向けたキックオフといった位置づけで論点整理として出されたが、2020年度改定からのテーマである「対物業務から対人業務へ」が大きなテーマになり、かかりつけ薬局としての評価を設けたものの、移行が進んでいないの実態が追求され、診療側、支払側双方から「対物が出来ての前提の対人だ」といった意見が占められた。

なお、公益委員から門前薬局の実態などについて意見が出されたことに伴い、日本医師会3名の委員からは「公益委員が肌感覚だけで持論を述べることに對してご留意いただきたい」と猛反発し、公益委員のあり方について考え方が分かれた。会長及び井内努医療課長からは「公益委員のあり方については、一度事務局で整理する」とし、新たな火種が生まれることとなった。

### 令和3年度調査が、検証部会、総会で了承—NDB等との紐付けも視野に

検証部会では、「令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和3年度調査）の調査票案」について、今回は事前に調査検討委員会で作成した案を委員に送付しており、かつ委員から出された意見が一定反映された格好で提案された。令和2年度の調査はすでに3月24日に報告がされており、第2弾では、かかりつけ医（外来、歯科、薬局）、精神医療、働き方改革関連、後発医薬品使用促進の6項目に渡り、また、今回もNDB（ナショナルデータベース）などのデータを活用し、調査の客観性の確保と、回答の簡素化から回収率向上を目指すことが提案され、それぞれの調査に対しどういった側面でデータを活用するかが一定明記された。NDBは厚生労働省が構築したレセプト情報・特定健診等情報データベースであり、国民皆保険制度の日本における保険診療レセプトの全数データである。

資料は全体で290ページ弱に及び、令和2年度調査時の連絡先は「みずほ情報総研株式会社」だったが、今回は「PwCコンサルティング合同会社」となっている。

いずれの調査票案にも、前半部分で新型コロナに関連した設問（黄色マーカ）が掲載されている。また、前回調査からの追加した設問は青色マーカで示されている。

調査票案の説明に対し、中村洋委員（公益側、慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）からは「回収率がまだまだ少ないので向上を求める」、飯塚敏晃委員（公益側、東京大大学院経済学研究科教授）からは、「NDB データ以外にも連結が必要であれば検討頂きたい」などの意見が出されつつ、調査票案は了承された。

なお、その後の総会では、幸野委員から「事前調整でリクエストさせていただき、例年以上に反映していただいたことに感謝する。患者の受領行動を調査することで、我々も注目している。別途要望したいと思う。後発医薬品の変更不可欄について設問に入っていないのは残念だ。理由の選択肢をつけていただいたことには感謝する」と述べ、了承された。

## 医療機器 FoundationOne Liquid CDx、組織検査難しい場合のセカンドラインとして採用

総会では、医療機器の保険適用が提案され、「メドトロニック Vanta PC」（日本メドトロニック、087 植込型脳・脊髄電気刺激装置（1）疼痛除去用）、「FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル」（中外製薬、D004-2 悪性腫瘍組織検査）の2点が承認された。

このうち FoundationOne については、「医学的な理由により、固形腫瘍の腫瘍細胞を検体としてがんゲノムプロファイリング検査を行うことが困難な場合」という追記がされている。これは、組織検査が困難な場合に本検査を行うということで、「従来は組織検査で、それを補完する検査として有用であるという位置づけ」（事務局）による承認となっている。これに対し、幸野委員は「ということは、組織検体は精度感度等が劣ると考えてよいか。」と質問し、事務局は「劣るということも含めて本検査の精度結果も踏まえている」と述べた。

## 歯科用貴金属価格の随時改定 I、告示引き上げ

2021 年 10 月からの歯科用貴金属の告示価格は、変動率が 10.6% 「随時改定 I（±5%）」により 2,668 円から 283 円増の 2,951 円とすることが提案され、了承された。意見なく了承された。変更されたのは以下の通り。

6 歯科鑄造用金銀パラジウム合金（金 12%以上 JIS 適合品）	2,668 円→2,951 円
11 歯科鑄造用銀合金 第 1 種（銀 60%以上イリジウム 5%未満 JIS 適合品）	130 円→ 145 円
12 歯科鑄造用銀合金 第 2 種（銀 60%以上イリジウム 55%以上 JIS 適合品）	151 円→ 163 円

## 次回改定議論：調剤（その 1）、かかりつけ機能遅れ、ポリファーマシー、門前薬局など

総会では、次回改定に向けた「調剤（その 1）」として、事務局より提示された。キックオフの位置づけとして、調剤報酬を取り巻く現状が報告された。主なテーマは▼医薬分業、▼対物業務から対人業務へ、▼かかりつけ薬局（薬剤師）、▼病院薬剤師、▼重複投薬、ポリファーマシー及び残薬等、▼分割調剤、▼医薬連携、▼在宅訪問薬剤管理指導、▼ICT とオンラインなどが挙げられた。

まず日本薬剤師会の有澤賢二委員から意見を述べた。「この間の改定で対人業務に大きくシフトしてきたが、対物業務がしっかり出来た上でできることを前提に考えてほしい。また、後発品メーカーの不祥事により安定供給への不信感が広がっており、対応状況などの資料を求める。なお、0410 事務連絡（オンライン等服薬指導）の恒久化には反対。また、敷地内薬局の悪質な事例が多くなってきている。感染対策実施加算については 10 月以降も継続を希望」など一通りの論点に渡って発言した。

城守国斗委員（診療側、日本医師会常任理事）は、オンライン服薬指導について「実態がまだ弱く、薬剤師会で研修プログラムを設定すべき。医療機関としても個人情報活用の活用や資格確認が不十分」と述べた。

松本吉郎委員（診療側、日本医師会常任理事）は、「敷地内薬局について、医療資源の少ない地域では敷地内で行うのはやむを得ないが、わざわざ院外調剤にしているのは医療費の無駄だ。敷地内薬局にせざるを得ないのであれば、院内薬局にしたほうが良い」と述べた。

島弘志委員（診療側、日本病院会副会長）は、「病棟薬剤師が主体的に関わる業務が次第に増えてきている。地域包括ケア病棟や回復期リハビリ病棟は配置ぜひ病棟薬剤師の配置をした上で、新たな評価を希望する」と求めた。

池端幸彦（診療側、日本慢性期医療協会副会長）は、診療側のこれまでの意見に賛同するとともに、島委員が述べた病棟薬剤師の雇用についても賛同した。「薬局との待遇が場合によっては 10 万円も違うところがある。雇用のための大きな評価として加算を求める」と求めた。ポリファーマシーを利用できるよう要

件付と評価を求めた。

支払側からは幸野委員をはじめ様々な委員から発言が出された。「対人業務が進んでいない。0410 対応も含めて」、「かかりつけ薬剤師指導料算定回数は全処方箋枚数の 1.5%程度にとどまっている。いくら対人業務を作っても変わらない。いわゆる機能で区分し、もっと調剤料 5：基本料 3：薬学管理料 2 の構造を大きく変えていかなければならない。もっと大きくかじを切るべき。」などと述べた。また、論点以外として、「感染防止加算の継続には明確に反対する。これは中医協で議論された点数ではないので継続には反対。私が通う薬局も消毒液が置かれているだけで、防護服は来ていない。実態を踏まえてほしい」と主張するなど、支払側から見た現場の感想が複数の委員から出された。

### **公益委員の発言に診療側が猛反発**

調剤報酬に関する議論の中で、調剤薬局の評価をめぐって公益側が、「薬局の機能で評価が変われば患者負担も変わってしまうことは今後の課題」（中村委員）、「大手門前薬局に逆インセンティブにすれば評価は下がるが、患者がさらに来るようになる」（飯塚委員）との発言に対し、城守委員ら日医の委員 3 名が猛反発する一幕があった。城守委員は、「公益委員が肌感覚だけで持論を述べることに對してご留意いただきたい」とたしなめた。支払側は「今回はキックオフで平場だから良いかと。議論が対立した中で持論を述べるのはどうかと思うが」（幸野委員）と述べたが、小塩隆士会長（一橋大経済研究所教授）や井内努保険局医療課長は「公益委員のあり方については、一度事務局で整理したい。」とその場を収めた。

以上

配布された資料は、保団連情報共有スペース「社保・審査対策」の「社保/審議会等」にて公開しておりますので、併せてご覧下さい。また、厚生労働省HPでも公開されています。

第 63 回診療報酬改定結果検証部会 [https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000207397\\_00006.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000207397_00006.html)

第 483 回総会 [https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500\\_00099.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00099.html)

**<会内使用以外の無断転載禁止>**